

ECCJ Home | 「スマートライフ」 | 総目次 | 創刊号 | 2 | 3 | 4 | 増刊号 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 |

| こどもたちを応援! | 未来へ踏出す小中学生 | こども省エネ座談会 | アンバサダーコメント |

| 省エネ教室 | 省エネ学習研究会 | アンバサダーレポート | 「Kids ISO14000」 |

| 海外の省エネ事情 | オトク情報 | インフォメーション | イベント |



[\[ 次頁へ \]](#)



### 「水没した大阪は見たくない!」こどもたちが動き出す

地球温暖化防止活動推進員  
宇田吉明氏

地球に残されたエネルギー資源は限りがあります。また、このままでは、今世紀末には気温は最大5.8度まで上昇、海水温度の上昇による膨張や氷山・氷土の溶解で海面が1m近く上がり、海拔の低い大阪市は半分くらい水没してしまいます。日本では400万人以上が住む土地を失い、世界中では約2億人が影響を受けると推定されます。新たに地球温暖化難民の発生です。異常気象による洪水や干ばつで食料不足が深刻化し、開発途上国での人口増大(2050年には世界の人口は50%増の90億人と推定)と相まって、多くの飢餓が発生します。地球温暖化は今世紀最大の危機を招く問題です。そして、これらは私たちより、未来を担うこどもたちにとってより深刻な問題です。

「知って欲しい、そして一緒に行動しよう」そんな思いで大阪府下の小中学校を対象に、NPOの皆さんと地球温暖化の体験型学習講座を開いています。体験学習の流れは、(1)実験を通じ二酸化炭素が地球温暖化の原因となることを理解。(2)大阪市が水没している写真を見せて、温暖化が進むと海面が上昇し自分たちの町がどうなるかを実感。(3)ここで、今なら遅くない、省エネ行動で温暖化防止が可能であると話し、家庭での省エネの例を提示。(4)最後、環境家計簿を家に持ち帰って、お母さんと一緒に取り組みましょうと締める。となります。

わが家でも、3年前から環境家計簿に取り組んでいます。省エネから総エネと段々とレベルアップしてきました。今では、電力はほぼソーラー発電で賄い、給湯機はソーラーとヒートポンプのハイブリッド式のため、ガス消費量は料理だけで月々僅かです。一方、取得し保全している森林(1,200m<sup>2</sup>)が、ガソリンやガスから発生する二酸化炭素を吸収している動定なのでわが家の二酸化炭素収支はゼロを実現しています。

知恵を絞り、楽しんで省エネ水準を上げていくことは可能です。私たちおとなが「進化する省エネ」の意識をこどもたちにバトンタッチしていきたいものです。



### みんなの課題 省エネ行動継続への鍵は?

北九州市立八幡小学校教諭  
池田 優氏

豊富な物に囲まれ、使い放題、使い捨てが習慣化した現代、快適な生活を崩してまでなぜ「省エネ」の必要があるのかとこどもたちは考えます。いくらエネルギーの大切さを説いても、それは知識の蓄積であり、行動として身に付くものではありません。